

14時30分解禁

平成30年8月 全国百貨店売上高概況

平成30年9月21日

I. 概況

1. 売上高総額	4,118億円余
2. 前年同月比	-0.2% (店舗数調整後/2か月連続マイナス)
3. 調査対象百貨店	79社 219店 (平成30年7月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,513,129㎡ (前年同月比:-3.4%)
5. 総従業員数	69,097人 (前年同月比:-4.0%)
6. 3か月移動平均値	1-3月 -0.7%、2-4月 0.0%、3-5月 -0.4%、 (店舗数調整後) 4-6月 0.6%、5-7月 -1.9%、6-8月 -1.3%

[参考] 平成29年8月の売上高増減率は2.0% (店舗数調整後)

【特徴】

8月の売上高は0.2%減と前月(6.1%減)から水準を戻し前年並みの結果となった。台風の接近・上陸や土曜日1日減などマイナス与件はあったものの、高額消費やインバウンドが業績を牽引した他、各社が積極展開したセールや人気イベントなども集客に寄与した。

顧客別では、インバウンド(シェア6.3%)が約258億円(20.0%増)と21か月連続で増勢が続く一方、国内市場(シェア93.7%/1.3%減)は2か月連続のマイナスとなった。

また、地区別では、10都市が8地区(札幌、仙台、東京、横浜、名古屋、京都、大阪、福岡)で前年を上回り1.0%増とプラスに転じた。地方(10都市以外の地区)は3.0%減と依然マイナス基調にあるが、当月は3地区(北海道、四国、九州)で対前年増となり前月から5.3ポイント改善した。

商品別では、ラグジュアリーブランドを含む身のまわり品が2.5%増とプラスに転じた。また、猛暑による盛夏商材への需要の高まりから、化粧品がUVケア商品を中心に国内外ともに好調で41か月連続プラス(9.0%増)。高級腕時計なども好調推移し、雑貨合計で21か月連続プラスとなった(3.7%増)。衣料品(2.6%減)、家庭用品(1.1%減)、食料品(1.4%減)は対前年減となったものの、マイナス幅はそれぞれ前月の実績から大きく改善している。

【要因】

- (1) 天候：気象庁発表「8月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇東・西日本は、上・下旬を中心に晴れて気温が顕著に上昇した日が多く、平均気温がかなり高かった。西日本は日本海側を中心に晴れた日が多く、降水量がかなり少なく、日照時間はかなり多かった。一方、北・東日本日本海側は秋雨前線の影響などにより降水量がかなり多かった。

- (2) 営業日数増減 30.7日(前年同月比 +0.1日)
 (3) 土・日・祝日の合計 8日(// -1日/土曜1日減)
 (4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数117店舗)
 ①増加した：42店、②変化なし：33店、③減少した：42店
 (5) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上(同上/有効回答数88店舗)
 ①増加した：18店、②変化なし：47店、③減少した：23店

NEWS LETTER

全国百貨店 売上高速報 2018年08月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	411,802,360	100.0	-0.2 (-0.2)
10都市	291,069,171	70.7	1.0 (1.7)
札幌	11,981,129	2.9	1.1
仙台	5,277,922	1.3	0.5
東京	110,748,902	26.9	1.6
横浜	25,209,711	6.1	1.7
名古屋	25,069,014	6.1	3.1 (-1.0)
京都	17,277,856	4.2	0.8
大阪	60,281,047	14.6	5.0
神戸	10,673,857	2.6	-32.1 (-5.3)
広島	9,013,226	2.2	-1.9
福岡	15,536,507	3.8	3.5
10都市以外の地区	120,733,189	29.3	-3.0 (-4.6)
北海道	1,291,792	0.3	2.7
東北	5,916,827	1.4	-9.4 (-12.0)
関東	51,206,475	12.4	-2.7 (-7.9)
中部	9,622,873	2.3	-2.7 (-3.3)
近畿	17,357,847	4.2	-6.9 (-0.2)
中国	9,125,970	2.2	-3.5
四国	6,307,225	1.5	0.4
九州	19,904,180	4.8	0.3

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	411,802,360	100.0	-0.2 (-0.2)
紳士服・洋品	20,028,946	4.9	-2.6 (-2.8)
婦人服・洋品	69,557,938	16.9	-2.0 (-2.5)
子供服・洋品	8,038,071	2.0	-1.7 (-0.9)
その他衣料品	8,248,655	2.0	-8.3 (-9.3)
衣 料 品	105,873,610	25.7	-2.6 (-3.0)
身のまわり品	55,942,363	13.6	2.5 (2.5)
化粧品	43,380,511	10.5	9.0 (9.1)
美術・宝飾・貴金属	25,891,439	6.3	-0.1 (0.1)
その他雑貨	16,968,499	4.1	-2.9 (-1.3)
雑 貨	86,240,449	20.9	3.7 (4.1)
家 具	4,864,255	1.2	6.8 (5.6)
家 電	1,164,348	0.3	41.4 (41.4)
その他家庭用品	11,706,947	2.8	-6.8 (-6.9)
家 庭 用 品	17,735,550	4.3	-1.1 (-1.5)
生 鮮 食 品	22,937,848	5.6	-2.9 (-2.7)
菓 子	34,782,301	8.4	-2.2 (-1.8)
惣 菜	27,800,214	6.8	-0.5 (0.1)
その他食料品	31,935,000	7.8	0.0 (-0.4)
食 料 品	117,455,363	28.5	-1.4 (-1.2)
食 堂 喫 茶	14,540,514	3.5	-2.0 (-2.4)
サ ー ビ ス	4,924,811	1.2	-2.1 (-2.9)
そ の 他	9,089,700	2.2	-2.3 (-3.2)
商 品 券	8,490,904	2.1	-6.9 (-8.4)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 1.0% (店舗数調整後／2か月ぶりプラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | -3.0% (店舗数調整後／16か月連続マイナス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	1.0	0.7	2か月ぶりプラス
札幌	1.1	0.0	2か月ぶりプラス
仙台	0.5	0.0	2か月ぶりプラス
東京	1.6	0.4	2か月ぶりプラス
横浜	1.7	0.1	2か月ぶりプラス
名古屋	3.1	0.2	2か月ぶりプラス
京都	0.8	0.0	2か月ぶりプラス
大阪	5.0	0.7	2か月ぶりプラス
神戸	-32.1	-0.9	12か月連続マイナス
広島	-1.9	0.0	2か月連続マイナス
福岡	3.5	0.1	2か月ぶりプラス
10都市以外の地区	-3.0	-0.9	16か月連続マイナス
北海道	2.7	0.0	23か月ぶりプラス*
東北	-9.4	-0.2	12か月連続マイナス*
関東	-2.7	-0.4	2か月連続マイナス
中部	-2.7	-0.1	2か月連続マイナス
近畿	-6.9	-0.3	18か月連続マイナス
中国	-3.5	-0.1	5か月連続マイナス*
四国	0.4	0.0	2か月ぶりプラス
九州	0.3	0.0	2か月ぶりプラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

NEWS LETTER

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が21か月連続、身のまわり品が2か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が2か月連続、食料品が15か月連続、家庭用品が32か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が41か月連続、家具が2か月ぶり、家電が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.2	-	2か月連続マイナス
紳士服・洋品	-2.6	-0.1	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	-2.0	-0.3	2か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.7	0.0	2か月連続マイナス
その他衣料品	-8.3	-0.2	34か月連続マイナス
衣料品	-2.6	-0.7	2か月連続マイナス
身のまわり品	2.5	0.3	2か月ぶりプラス
化粧品	9.0	0.9	41か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	-0.1	0.0	2か月連続マイナス*
その他雑貨	-2.9	-0.1	2か月連続マイナス*
雑貨	3.7	0.7	21か月連続プラス
家具	6.8	0.1	2か月ぶりプラス
家電	41.4	0.1	3か月ぶりプラス
その他家庭用品	-6.8	-0.2	29か月連続マイナス
家庭用品	-1.1	0.0	32か月連続マイナス
生鮮食品	-2.9	-0.2	53か月連続マイナス*
菓子	-2.2	-0.2	9か月連続マイナス*
惣菜	-0.5	0.0	11か月連続マイナス*
その他食料品	-0.0	0.0	5か月連続マイナス*
食料品	-1.4	-0.4	15か月連続マイナス
食堂喫茶	-2.0	-0.1	16か月連続マイナス
サービス	-2.1	0.0	9か月連続マイナス
その他	-2.3	-0.1	4か月連続マイナス
商品券	-6.9	-0.2	90か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成30年8月 東京地区百貨店売上高概況

平成30年9月21日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,107億円余
2. 前年同月比	1.6% (2か月ぶりプラス)
3. 店頭・非店頭の増減	店頭2.6%(89.9%) : 非店頭-7.0%(10.1%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 25店 (平成30年7月対比±0店)
5. 総店舗面積	841,341㎡ (前年同月比:-0.2%)
6. 総従業員数	17,929人 (前年同月比:-1.8%)
7. 3か月移動平均値	1-3月 0.1%、2-4月 0.8%、3-5月 1.0%、 4-6月 3.4%、5-7月 1.0%、6-8月 1.1%

[参考] 平成29年8月の売上高増減率は3.6%

【特徴】

- (1) 8月の東京地区は、台風の影響を受けつつも、各社が打ち出した夏休みイベントやコラボレーション催事、食料品関連企画など多様なプロモーション施策が人気を博し、入店客数は3.2%増と10か月連続でプラス。猛暑により雑貨や軽衣料を中心に盛夏商材が引き続き好調推移したうえ、インバウンドも堅調で、売上高もプラスに転じた。
- (2) 商品別では、主要5品目のうち、増勢が続く雑貨に加え、身のまわり品、家庭用品、食料品がプラスに転じ、4品目で前年をクリアした。衣料品は0.1%減とほぼ前年並みで、回復の兆しが見られる。
- (3) 身のまわり品では、ラグジュアリーブランド(バッグ、財布、カードケース)や、サンダース、サンダル、晴雨兼用傘などの盛夏アイテムが好調。洋服の軽装化にあわせたピアスやネックレスなどアクセサリーも動いた。食料品では、惣菜や、和洋酒などが好調なその他食料品が全体を押し上げた。
- (4) 化粧品は高伸が続いており41か月連続プラス。好調な国産UVケア商品の他、海外ブランドも動いた。衣料品では、スカート、ワンピース、ブラウス、カットソー、ハンカチ、帽子、特選衣料などが好調。また猛暑を受けてビアガーデンも盛況だった。
- (5) 9月中間段階の商況は、3.0%減(9/18)で推移している。

【要因】

- (1) 営業日数増減 30.9日(前年同月比 +0.4日)
- (2) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数18店舗)
 - ①増加した: 9店、②変化なし: 4店、③減少した: 5店
- (3) 8月歳時記(夏休み、お盆)の売上(同上/有効回答数12店舗)
 - ①増加した: 3店、②変化なし: 5店、③減少した: 4店

NEWS LETTER

東京地区百貨店 売上高速報 2018年08月

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率(%)
総 額	110,748,902	100.0	1.6
紳士服・洋品	7,041,667	6.4	-3.4
婦人服・洋品	16,988,467	15.3	1.9
子供服・洋品	2,019,303	1.8	6.9
その他衣料品	1,858,902	1.7	-11.0
衣 料 品	27,908,339	25.2	-0.1
身のまわり品	16,598,373	15.0	2.2
化粧品	13,395,330	12.1	9.6
美術・宝飾・貴金属	8,038,810	7.3	-2.9
その他雑貨	5,363,912	4.8	5.1
雑 貨	26,798,052	24.2	4.7
家 具	1,393,398	1.3	9.8
家 電	848,942	0.8	57.0
その他家庭用品	2,947,739	2.7	-7.6
家 庭 用 品	5,190,079	4.7	3.8
生 鮮 食 品	3,964,045	3.6	-1.1
菓 子	7,774,671	7.0	-0.1
惣 菜	6,162,458	5.6	0.9
その他食料品	7,930,108	7.2	3.0
食 料 品	25,831,282	23.3	0.9
食 堂 喫 茶	3,288,743	3.0	0.3
サ ー ビ ス	2,055,462	1.9	-0.5
そ の 他	3,078,572	2.8	-7.3

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

商 品 券	1,744,136 千円	-3.6
従 業 員 数	17,929 人	-1.8
店 舗 面 積	841,341 m ²	-0.2

営 業 日 数	30.9 日	前年	30.5 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が21か月連続、身のまわり品と食料品が2か月ぶり、家庭用品が3か月ぶりのプラスとなった。また、衣料品が2か月連続のマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が41か月連続、その他雑貨が9か月連続のプラス、婦人服・洋品、子供服・洋品、家具、惣菜、その他食料品が2か月ぶり、家電が3か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	1.6	—	2か月ぶりプラス
紳士服・洋品	－3.4	－0.2	2か月連続マイナス
婦人服・洋品	1.9	0.3	2か月ぶりプラス
子供服・洋品	6.9	0.1	2か月ぶりプラス
その他衣料品	－11.0	－0.2	2か月連続マイナス
衣料品	－0.1	0.0	2か月連続マイナス
身のまわり品	2.2	0.3	2か月ぶりプラス
化粧品	9.6	1.1	41か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	－2.9	－0.2	2か月連続マイナス*
その他雑貨	5.1	0.2	9か月連続プラス*
雑貨	4.7	1.1	21か月連続プラス
家具	9.8	0.1	2か月ぶりプラス
家電	57.0	0.3	3か月ぶりプラス
その他家庭用品	－7.6	－0.2	2か月連続マイナス
家庭用品	3.8	0.2	3か月ぶりプラス
生鮮食品	－1.1	0.0	30か月連続マイナス*
菓子	－0.1	0.0	2か月連続マイナス*
惣菜	0.9	0.0	2か月ぶりプラス*
その他食料品	3.0	0.2	2か月ぶりプラス*
食料品	0.9	0.2	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	0.3	0.0	2か月ぶりプラス
サービス	－0.5	0.0	2か月連続マイナス
その他	－7.3	－0.2	8か月連続マイナス
商品券	－3.6	－0.1	2か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>